

祝　辞

青森市長　西　秀記

「第７０回東北造形教育研究大会青森大会兼２０２６年度青森県造形教育研究大会東青大会」が、県内はもとより東北各地から多数の皆様をお迎えし、ここ青森市において盛大に開催されますことは誠に喜ばしく、心より歓迎とお祝いを申し上げます。

本市は、棟方志功画伯や関野準一郎画伯をはじめ、日本を代表する偉大な版画家たちを育んできた、芸術文化の造詣が深い街です。さらに今年は「まちづくり４００年」という大きな節目を迎えております。この４００年にわたる歴史と風土のなかで、先人たちは厳しい自然に向き合いながら豊かな感性と表現力を磨き、独自の素晴らしい芸術文化を築いてまいりました。

「青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ」には、今年の青森ねぶた祭で「ねぶた大賞」に輝いた大型ねぶた「北海の雄（ほっかいのゆう）」が展示されており、その圧倒的な造形美と迫力を間近で体感していただけます。また、記念講演では、この「北海の雄」を手掛けた第７代ねぶた名人の竹浪比呂央氏がご登壇されます。伝統を受け継ぎながら先進的な表現に挑み続ける竹浪氏のお話を通して、造形表現の奥深さや文化継承への情熱を感じ取っていただけることでしょう。

本大会の主題であります「創る喜び 伝える喜び ～感性豊かに未来へつながる～」は、こうした本市の歩みや精神とも深く響き合うものであります。予測困難な時代を迎えている今日において、子どもたちが感性を研ぎ澄まし、豊かに表現し、他者と認め合う力を養う造形教育は、心豊かな未来の文化を創造する担い手を育む上で、誠に重要かつ深い意義をもっています。

本市におきましても、子どもたちが郷土の誇りに触れ、豊かな人間性と創造性を育むことができる教育環境づくりに一層努めているところです。ご参会の皆様におかれましては、本大会における研究成果が東北の未来を拓く糧となりますとともに、本市の風土と芸術の息吹を存分に体感していただければ幸いに存じます。

結びに、本大会のご成功と開催に向けてご尽力いただきました関係各位へ深い敬意を表しますとともに、皆様の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、祝辞といたします。